

(5) 主催者の閉会挨拶

◎主催者の閉会挨拶

○島口義弘（司会） 本日は、皆様、長い間、お疲れさまでございました。

今日は、本当にお時間が押してしまったことを改めておわびを申し上げたいと思います。

一応、今日予定をしておりましたフォーラムの内容は全て終了いたしました。

ただ、私が住んで愛した時代の南区でございますが、子どもが遊び回り、そして、虫かごを持って追いかけている姿、学生が集い、活気あふれていた時代、それから40年以上たってしまったのです。私は、機会があれば何度もこの地に足を運んでいます、人がまばらで、子どもたちの声が多く聞こえないこのまちに、とっても悲しく思っております。間もなく、オリンピックから50年を迎えようとしております。このまちは、50年後に人が住まない廃墟になるのではないかと私は危機感を持っております。

オリンピック、今、平昌でやっていますね。このオリンピックというのは、たった1カ月で終わるスポーツの祭典です。しかし、野球というのは、ずっとずっと地域に寄り添っていくスポーツです。私は、もし球場が南区に来てくれたとしたら、新たな若い世代が、そういう人たちが住んでくれて、そして、住環境が整備され、コミュニティーが復活し、スポーツの活性化など、まちが生まれ変わるきっかけになるのではないかなと思っております。

もちろん、今は何も決まっておられません。もし新球場を南区に選んでくれたとしたら、皆さんと論議を重ね、一緒によいまち、そして、よい南区にしていきたいと思っております。

もちろん、我々に強大な力はございません。しかし、皆さんと一緒にやれば大きな力になると思いますので、これからも一緒に頑張っていきましょう。

本日は、長い時間のご参加、そして、時間を大変オーバーした中、本当にありがとうございました。忘れ物のないように気をつけてお帰りくださいませ。

本当にありがとうございました。